

Perl/CGI Online Log Search Script by JR4PUR

■作者

Takeshi Nakata, JR4PUR

website: http://sevenpence.org/_/

e-mail: webmaster@sevenpence.org

■利用規定

このソフトウェアはフリーソフトウェアです。

下記のクレジットを削除しないことを条件として、自由に利用・改造・再配布出来ます。

改造したもの（二次的著作物）の再配布も自由に出来ます。

（コピーレフトであることに留意して下さい）

#Perl/CGI Online Log Search Script by JR4PUR

#Copyleft. April 21, 2010 QSL@JR4PUR

#http://sevenpence.org/_/

■概要

Perlで書いたオンライン・ログサーチです。

CGIが使用出来るサーバーにアップロードして使用します。

ロギングソフトLogger32からエクスポートしたUQF(asc) ファイルを編集せずにそのままデータベースとして使用できます。

次のモードに対応しています。

- ・ CW
- ・ SSB
- ・ RTTY
- ・ AM
- ・ FM
- ・ SSTV

※AM、FM、SSTVを使用する場合は使用するモードのコードの先頭の「#」を削除して下さい。（185行目から225行目）

■動作環境

次の環境で動作した実績があります。

OS: FreeBSD 7.1-RELEASE-p8 i386

Apache: 1.3.42 (Unix) mod_ssl/2.8.31 OpenSSL/0.9.8e

Perl: Perl 5.8.9

■CGI設置例

注意:

これはあくまで例です、貴方が使用するサーバー環境に合わせて設置して下さい。

CGI設置に関しては多くの情報がネット上に溢れていますのでそちらを参照して下さい。

※文字コード、改行コードに関して

当スクリプト (search.cgi) は、文字コード「EUC」、改行コード「LF」で記述しています。

Windows付属のメモ帳では「シフトJIS」のテキストファイルしか編集できませんので、「EUCコード」で編集の出来るテキストエディタを御使用下さい。

文字コード、改行コードが選択できるテキストエディタ例:

- ・ TeraPad
- ・ MKEditor

- ・ 秀丸 (シェアウェア)
- ・ xyzzz

※Perlへのパスを確認して下さい。

スクリプトの1行目は貴方が使用するサーバー環境に合わせて変更する必要があります。

例：

```
#!/usr/local/bin/perl
#!/usr/bin/perl
#!/usr/sbin/perl
#!/usr/lib/perl
```

※ファイルの転送

同胞されている次のファイルをFTPクライアントを使用してサーバーにアップロードします。
そして各ファイルのパーミッション (chmod) を変更します。

- ・ online.log.html
- ・ search.cgi
- ・ data.ASC (QSOデータを覗かれないようにファイル名を変更して下さい。または、別なフォルダに格納して、フォルダのパーミッションをタイトに設定して下さい)
- ・ *.png (お好みの画像を使用して下さい)
- ・ *.png (お好みの画像を使用して下さい)

※ファイル設置例：

| | |
|-------------------------------|----------------------|
| ./public_html/online.log.html | chmod [644] or [604] |
| ./public_html/search.cgi | chmod [755] or [705] |
| ./public_html/data.ASC | chmod [644] or [604] |
| ./public_html/*.png | chmod [644] or [604] |
| ./public_html/*.png | chmod [644] or [604] |

| | |
|---------------------------------------|----------------------|
| ./public_html/cgi-bin/online.log.html | chmod [644] or [604] |
| ./public_html/cgi-bin/search.cgi | chmod [755] or [705] |
| ./public_html/cgi-bin/data.ASC | chmod [644] or [604] |
| ./public_html/cgi-bin/*.png | chmod [644] or [604] |
| ./public_html/cgi-bin/*.png | chmod [644] or [604] |

| | |
|----------------------------------|----------------------|
| ./public_html/online.log.html | chmod [644] or [604] |
| ./public_html/cgi-bin/search.cgi | chmod [755] or [705] |
| ./public_html/cgi-bin/data.ASC | chmod [644] or [604] |
| ./public_html/cgi-bin/*.png | chmod [644] or [604] |
| ./public_html/cgi-bin/*.png | chmod [644] or [604] |

※search.cgiをonline.htmlとは違うフォルダに設置する場合、online.htmlとの各々のパスを変更する必要があります。

上記の場合：

online.html 6行目を./cgi-bin/search.cgiに変更します。

search.cgi 254行目を../online.log.html (相対パス) に変更します。

■使用するBANDの設定

スクリプトの18行目で使用するBANDの設定が出来ます。(BANDの数字はUQFファイルのデータ名と同様にしないと動作しません。)

■表示させるQSOデータの設定

スクリプトの23行目で表示させるデータ名の設定が出来ます。（任意の名称が使用出来ます）

また、243行目で表示させるデータの選択が出来ます。

（\$CALL, \$DATE, \$UTC, \$BAND, \$MODE, \$RSTのデータが使用できます。データ名を変更すると動作しません。）

■モードの追加方法

UQFファイルでは空白で各データが区切られていますが、文字数が5文字以上のモード名の場合、隣のRSTレポートとデータがくっついてしまい、うまくデータが取り出せません。

しかし、基本的には文字数が4文字以下のモードであれば次のコードをスクリプトの143行目から226行目に追加することにより使用することが出来ます。

その際、追加するモード名はUQFファイルのデータ名と同様にしないと動作しません。

--ここから--

```
        print "<tr style=¥\"background:$STB_COLOR¥\">¥n";
        print "<td style=¥\"background:$MTB_COLOR¥\"><center><span
style=¥\"color: $ITEM_COLOR;¥\"><b>追加するモード名</b></span></center></td>¥n";
        foreach $band (@BANDS) {
            print "<td width=' 39' >¥n";
                if ($usedBand{$band, 追加するモード名}) {
                    print "<center><img
src=' $QSO_PICT' ></center>¥n";
                } else {
                    print "<center><img
src=' $NIL_PICT' ></center>¥n";
                }
            print "</td>¥n";
        }
        print "</tr>¥n";
```

--ここまで--

■CSVファイルの使用

Logger32からエクスポートしたCSVファイルを使用する場合はスクリプトの18行目を次のように書き換えて下さい。

```
@BANDS = ('10M', '12M', '15M', '17M', '20M', '30M', '40M', '80M', '160M');
```

106行目と235行目を次のように書き換えて下さい。

```
($ADDRESS, $DISTANCE, $ARRL_SECT, $BAND, $CALL, $CNTY, $COMMENT, $CONT, $CONTEST_ID, $CQZ,
$APP_LOGGER32_USER_1, $DXCC, $FREQ, $GRIDSQUARE, $IOTA, $ITUZ, $APP_LOGGER32_USER_2, $
APP_LOGGER32_USER_3, $MODE, $NAME, $NOTES, $OPERATOR, $PFX, $PROP_MODE, $QSL_RCVD, $QSL_
SENT, $QSL_VIA, $QSLMSG, $QSLRDATE, $QSLSDATE, $QSO_DATE, $APP_LOGGER32_QSO_DATE, $QTH,
$RST_RCVD, $RST_SENT, $RX_PWR, $SAT_MODE, $SAT_NAME, $SRX, $STATE, $STX, $K_INDEX, $TEN_T
EN, $TIME_ON, $TIME_OFF, $TX_PWR, $SFI, $A_INDEX, $eQSL_QSL_SENT, $eQSL_QSL_RCVD, $LOTW_
QSL_SENT, $LOTW_QSL_RCVD, $FREQ_RX, $BAND_RX, $CREDIT_SUBMITTED, $CREDIT_GRANTED, $COU
NTRY, $APP_LOGGER32_QSO_NUMBER, $APP_LOGGER32_LOTW, $APP_LOGGER32_QSL, $APP_LOGGER32
_eQSL) = split(/¥/, $data);
```

140行目を次のように書き換えて下さい。

```
printf "<th><span style=¥\"color: $ITEM_COLOR;¥\"><b>%s</b></span></th>¥n",
lc$band;
```

236行目から243行目を次のように書き換えて下さい。

```
$BAND = !c$BAND;  
$QSO_DATE = ~ s/(¥d¥d¥d¥d) (¥d¥d) (¥d¥d)/$1-$2-$3/;  
@USE_DATA = ($CALL, $QSO_DATE, $BAND, $MODE);
```

Logge32からエクスポートしたCSVファイルにはダブルクォーテーション (") が含まれていますのでダブルクォーテーションを削除しないと動作しません。
ダブルクォーテーションはエクセルでCSVファイルを開いて上書き保存することで簡単に削除出来ました。(エクセル2003での実績)
また、QSOデータにカンマ (,) を使用したデータがある場合も正常に動作しないでしょう。

■免責事項

当プログラムが、全てのプロバイダーや、サーバー環境で動作する事は保証していません。
当プログラムを利用した事によるいかなる損害も作者は一切の責任を負いません。

73's

Takeshi Nakata, JR4PUR